

小津久足の歌稿について

菱岡, 憲司
有明工業高等専門学校

<https://doi.org/10.15017/27329>

出版情報 : 文献探究. 50, pp.12-18, 2012-03-31. 文献探究の会
バージョン :
権利関係 :

小津久足の歌稿について

菱岡 憲司

板坂耀子『江戸の紀行文』（中公新書、H23）は、近世紀行文学史を概観するなかで、小津久足『陸奥日記』を次の様に位置づけた。

江戸時代の紀行の代表作は松尾芭蕉の『おくのほそ道』ではなく、初期の貝原益軒の『木曾路記』と中期の橘南谿の『東西遊記』、後期の小津久足の『陸奥日記』である。

新書という体裁により、一般読者にもその紀行文が紹介された結果、小津久足の名が全国紙の紙面に登場することになった。

板坂氏が最後に挙げている小津久足という紀行作家は、版本がないせいもあって私は存在を知らなかった。要を得た紹介文のなかで、私は一個の近代精神に出会った、という気がした。これにくれば、明治以降の近代作家の紀行文のほうが衰退しているのではないか。

（湯川豊、毎日新聞書評、H23・4・24）
本誌に平成二十年より小津久足の紀行文を紹介してきた（小津久足「みただけのしをり」について」「小津久足「花鳥日記」について」「小津久足「風の御恵」について」「小津久足「松陰日記」について」「文献探究」46〜49、H20・3〜H23・3）筆者は、近世文学という枠を越えて久足紀行文の魅力が伝わることを知り、欣快に堪えない。

ただ、こうして紀行文に注目が集まりつつある現在だからこそ、紹介しておきたい資料がある。それは、日本大学総合学術情報センターに現存する小津久足の歌稿群である。長編も含め、小津久足は生涯で四十八点の紀行文を残したが、自作の詠歌を収載した歌稿類も、少なくとも四十点が確認できる。「としひさしく、たゞ歌よむことゝ、風流※名所古跡を訪ねること

をのみ、むねとたのしめり」（『陸奥日記』天保十一年）と述べるように、久足にとつて詠歌と紀行は、その文学的営為における二つの柱であった。それは久足に限らず、他の古学の徒にもいえることで、とくに詠歌に関しては、歌を詠まない古学者というものは存在しない。久足も、生涯に多くの歌を残した。

その久足歌稿の残存状況と性格について、以前言及したことがある（「小津久足「丁未詠稿」翻刻と解題（上・下）」『有明工業高等専門学校紀要』46・47、H22・10、H23・10）のだが、翻刻した「丁未詠稿」との関連を重視しての言及であり、いまだその全貌は報告できずにいた。よって本稿では、現存の確認できた小津久足歌稿の書誌を紹介し、その全体像を示したい。本稿における正確な書誌紹介のためにも、先の稿との重複を厭わず、久足歌稿の残存状況に触れておこう。

日本大学総合学術情報センター（以下「日大」と略す）には、三十八点の小津久足紀行文と、三十七点の歌稿が所蔵される。どちらも自筆稿本で、推敲を経た浄書本にあたる。

この歌稿群は、文化十四年（二八一七）から安政四年（二八五七）にいたる全三十七冊の久足自筆の歌稿である。日大の久足自筆稿本では、外題に通し番号を付すのが通例であり、歌稿群も「丁丑詠稿 一」（文化十四年）から「丁巳詠稿 四十一」（安政四年）まで、それぞれ外題下に「一から四十一」の表記がある。年内に詠んだ歌をまとめて採録したのがこの歌稿群であり、いずれも一年分が一冊に収まる。久足は、一冊目「丁丑詠稿」をまとめた文化十四年に春庭に入門し、安政五年（二八五八）十一月十三日、五十五歳にて没するため、この歌稿群により、春庭入門を契機としてはじめた詠歌の、最初期から晩年にいたる活動を確認することができる。

しかし、日大蔵の歌稿群のうち、二十九・三十一・三十五・三十七が欠番となっている。そして、その欠番に対応するのが、三重県立図書館所蔵の「丁未詠稿 三十一」「辛亥詠稿 三十五」「癸丑詠稿 三十七」の三冊である。なお、干支からして、おそらく「乙巳詠稿 二十九」と題したであろう歌稿の行方は現在確認できない。

ここで、久足歌稿の基本的な記録様式を確認する。翻刻の備わる「丁未詠稿」を例に説明すると、「丁未詠稿」奥書には、「惣計九百八十五首／難波日記六十一首／橘日記 三十九首／千首詠／合二千八十五首」と記されている。すなわち、「惣計九百八十五首」とあるのは、題詠や折に触れての詠歌など、歌題・詞書を付して本書に筆録した歌の総数であり、おおむね四季・雑の順で配列される。つづく「難波日記六十一首／橘日記 三十九首」は、それぞれ弘化四年の紀行文「難

波日記」「橘日記」中の歌数であり、歌そのものは「丁未詠稿」には記載されない。「千首詠」も同様に本書には載らない。以上、「丁未詠稿」所収歌と未記載の歌を併せて、その年に読んだ歌の総数が「合二千八十五首」となる。

以下、この未紹介歌稿群の今後の活用のためにも、日大と三重県立図書館所蔵本の書誌を報告する。なお、下記の書誌情報はすべての歌稿に共通するため、煩瑣を避けて各項目では省略する。

一冊。仮綴・袋綴。共表紙。十行書。

また、「日本大学図書館蔵」等、現所蔵元の印記も省略し、三重県立図書館所蔵本は識別のため通し番号を□で囲む。

1 丁丑詠稿 文化十四年（二八一七） 十四歳

日大 081.8.0.99a1。二四・四×一七・三糰。外題「丁丑詠稿 一」と左肩に打付書。内題「文化十四年丁丑詠稿 小津久足」。訂正あり。十七丁。奥書「以上百八十三首」。

2 戊寅詠稿 文政元年（二八一八） 十五歳

日大 081.8.0.99a2。二四・〇×一六・五糰。外題「戊寅詠稿 二」と左肩に打付書。内題「文化十五年戊寅」。二十五丁。付紙・付箋あり。訂正あり。奥書「惣計三百六拾三首 五十首詠一度／合四百十三首」。

3 己卯詠稿 文政二年（一八一九） 十六歳

日大 081.8./0.99a/3。二四・五×一七・五糶。外題「己卯詠稿 三」
と左肩に打付書。内題「文政二年己卯詠 小津久足」。六十二丁。
付箋あり。訂正あり。奥書「惣数九百三拾首 外〔百首詠一度／五
拾首詠三度〕／合千八百八拾首」。

4 庚辰詠稿 文政三年（一八二〇） 十七歳

日大 081.8./0.99a/4。二四・六×一七・三糶。外題「庚辰詠稿 四」
と左肩に打付書。内題「文政三年庚辰詠 小津久足」。三十八丁。
付箋あり。訂正あり。奥書「惣数 五百四拾一首」。

5 辛巳詠稿 文政四年（一八二一） 十八歳

日大 081.8./0.99a/5。二四・五×一七・四糶。外題「辛巳詠稿 五」
と左肩に打付書。内題「文政四年辛巳詠 小津久足」。三十三丁。
付箋あり。訂正あり。奥書「惣計 四百六拾二首 百首詠／合五百
六拾二首」。

6 壬午詠稿 文政五年（一八二二） 十九歳

日大 081.8./0.99a/6。二四・二×一七・三糶。外題「壬午詠稿 六」
と左肩に打付書。内題「文政五年壬午詠 小津久足」。三十七丁。
付箋あり。訂正あり。奥書「惣計五百四十首 古風十三首／吉野山
褰百三首 古風十七首 長歌三首／都合六百七拾三首」。

7 癸未詠稿 文政六年（一八二三） 二十歳

日大 081.8./0.99a/7。二四・四×一七・五糶。外題「癸未詠稿 七」

と左肩に打付書。内題「文政六年癸未作 小津久足」。二十五丁。
付紙あり。訂正あり。奥書「惣計三百四拾一首 古風三首 旋頭歌
壹首／花月二百首／都合五百四十五首」。

8 甲申詠稿 文政七年（一八二四） 二十一歳

日大 081.8./0.99a/8。二四・六×一七・五糶。外題「甲申詠稿 八」
と左肩に打付書。内題「文政七年甲申作 小津久足」。三十四丁。
付箋あり。奥書「惣計四百拾三首 古風八首／江門日記百七首 古
風九首 長歌四首／石走日記百五十六首 古風十九首 長歌五首／
都合七百十二首」。

9 乙酉詠稿 文政八年（一八二五） 二十二歳

日大 081.8./0.99a/9。二四・四×一七・四糶。外題「乙酉詠稿 九」
と左肩に打付書。内題「文政八年乙酉詠 小津久足」。二十六丁。
奥書「惣計三百六十一首 古風八首／半夜百首／都合四百六十九
首」。

10 丙戌詠稿 文政九年（一八二六） 二十三歳

日大 081.8./0.99a/10。二四・四×一七・四糶。外題「丙戌詠稿 十」
と左肩に打付書。内題「文政九年丙戌詠 小津久足」。百二丁。奥
書「惣計千四百七十七首／百首詠／惣計千七百二十三首／合三千二
百首」。

11 丁亥詠稿 文政十年（一八二七） 二十四歳

日大 081.8./0.99a/11。二四・五×一七・三糶。外題「丁亥詠稿 十

一」と左肩に打付書。内題「文政十年丁亥詠 小津久足」。三十三丁。奥書「惣計五百三十首／百首詠二百十三首／合七百四十三首」。

五首／合千三百六十七首」。

12 戊子詠稿 文政十一年（一八二八） 二十五歳

日大 081.8.0.99a12。一四・七×一七・三糶。外題「戊子詠稿 十
二」と左肩に打付書。内題「文政十一年戊子詠 小津久足」。四十
九丁。奥書「惣計七百七十一首／柳桜日記歌数三百七十四首／河口
百首百六十七首／春月八十首／草枕七十首／合千四百六十二首」。

16 壬辰詠稿 天保三年（一八三二） 二十九歳
日大 081.8.0.99a16。一四・二×一七・三糶。外題「壬辰詠稿 十
六」と左肩に打付書。内題「天保三年壬辰詠 小津久足」。七十六
丁。奥書「惣計千百十九首／百首詠惣計三百五十首／恋歌八百五十
首／合二千三百十九首」。

13 己丑詠稿 文政十二年（一八二九） 二十六歳

日大 081.8.0.99a13。一四・五×一七・二糶。外題「己丑詠稿 十
三」と左肩に打付書。内題「文政十二年己丑詠 小津久足」。八十
八丁。奥書「惣計千四百二十八首／百首詠惣計六百五十一首／月波
日記歌数百五十首／全歌数二千二百二十九首」。

17 癸巳詠稿 天保四年（一八三三） 三十歳
日大 081.8.0.99a17。一五・〇×一七・三糶。外題「癸巳詠稿 十
七」と左肩に打付書。内題「天保四年癸巳詠 小津久足」。五十八
丁。奥書「歌数七百廿八首／詩題二百首／述懷百首／梅桜日記百十
七首／合千四百四十五首」。

14 庚寅詠稿 天保元年（一八三〇） 二十七歳

日大 081.8.0.99a14。一四・四×一七・二糶。外題「庚寅詠稿 十
四」と左肩に打付書。内題「文政十三年庚寅詠 小津久足」。八十
七丁。奥書「惣計千三百六十三首／伊勢名所五十首／半夜百首／み
たけのしをり六十六首／合千六百九首」。

18 甲午詠稿 天保五年（一八三四） 三十一歳
日大 081.8.0.99a18。一四・八×一七・二糶。外題「甲午詠稿 十
八」と左肩に打付書。内題「天保五年甲午詠 小津久足」。三十五
丁。奥書欠。「時雨」（歌題）の歌で終わるため欠本。

15 辛卯詠稿 天保二年（一八三一） 二十八歳

日大 081.8.0.99a15。一四・五×一七・三糶。外題「辛卯詠稿 十
五」と左肩に打付書。内題「天保二年辛卯詠 小津久足」。六十八
丁。奥書「惣計千五十首／花染日記歌百廿二首／平家物語歌百九十

19 乙未詠稿 天保六年（一八三五） 三十二歳
日大 081.8.0.99a19。一四・八×一七・三糶。外題「乙未詠稿 十
九」と左肩に打付書。内題「天保六年乙未詠 小津久足」。五十八
丁。奥書「惣計七百七十九首／百詠四百首／残楓日記四十五首／合
千二百廿四首」。

20 丙申詠稿 天保七年（一八三六） 三十三歳

日大 081.8.0.99a20。一五・〇×一七・二糶。外題「丙申詠稿 二
十」と左肩に打付書。内題「天保七年丙申詠 小津久足」。四十一
丁。奥書「惣計四百八十四首／班鳩日記百六首／千首詠又一首／六
十首詠／姨捨日記百廿五首／真間の口すさみ十四首／旅路の斐ひ
ろひのこり〔八十九首／廿七首〕／合歌数千九百六首」。

21 丁酉詠稿 天保八年（一八三七） 三十四歳

日大 081.8.0.99a21。一四・五×一七・三糶。外題「丁酉詠稿 二
十一」と左肩に打付書。内題「天保八年丁酉詠 小津久足」。四十
四丁。奥書「惣計五百四十九首／千首詠又一首／詩題百首／煙霞日
記百七十六首〔上九十／下八十六〕／雪百首／雜咏百五十首／合歌
数千七十六首」。

22 戊戌詠稿 天保九年（一八三八） 三十五歳

日大 081.8.0.99a22。一五・〇×一七・三糶。外題「戊戌詠稿 二
十二」と左肩に打付書。内題「天保九年戊戌詠 小津久足」。五十
三丁。付箋あり。奥書「惣計六百四十六首／正月廿二日百首／偷閑
百首／一時のすさみ中十八首／神風の御恵中廿八首／四季五百首／
茶百首／ぬさふくろ日記〔上百三十首／下百二首〕／くさぐさ百首
／合千八百廿四首」。

23 己亥詠稿 天保十年（一八三九） 三十六歳

日大 081.8.0.99a23。一五・一×一七・三糶。外題「己亥詠稿 二
十三」と左肩に打付書。内題「天保十年己亥 小津久足」。八十八

丁。奥書「惣計千九百九十六首／月瀬日記中百六十九首／浜木綿日記
〔上百六十二中百三十五／下百六十四附録八十二〕／合五百ツキ十
三首／夫木集題五百九十五首／同殘歌二百七十首／雜詠百首／合二
千八百七十三首」。

24 庚子詠稿 天保十一年（一八四〇） 三十七歳

日大 081.8.0.99a24。二五・二×一七・三糶。外題「庚子詠稿 二
十四」と左肩に打付書。内題「天保十一年庚子詠 小津久足」。六
十六丁。奥書「惣計八百五十四首〔内今様一首〕／関東日記百四首
／陸奥日記三百廿四首同殘詩五十首／帰郷日記六十六首／三粟日記
七十首／四季題百首／雜詠百首／合千六百六十六首」。

25 辛丑詠稿 天保十二年（一八四一） 三十八歳

日大 081.8.0.99a25。一五・〇×一七・二糶。外題「辛丑詠稿 二
十五」と左肩に打付書。内題「天保十二年辛丑詠 小津久足」。百
十二丁。奥書「惣計千六百六十四首／梅百首／菜花百首／詩経三百
六首／雜二百首／四季百首／合二千四百七十首」。

26 壬寅詠稿 天保十三年（一八四二） 三十九歳

日大 081.8.0.99a26。二四・九×一七・二糶。外題「壬寅詠稿 二
十六」と左肩に打付書。内題「天保十三年壬寅詠 小津久足」。五
十六丁。奥書「惣計七百八十五首／花衣中四十四首／花の枝折中三
十二首／青葉日記中三百三十六首／紅葉の枝折中四十一首／くさ
ぐさ百五十首／〔山した水〕類題五千八百十六首〕／〔同〕余歌千
五百九十四首〔春八百五十一／夏二百六十二／秋四百八十一〕／合

八千八百首」。

27 癸卯詠稿 天保十四年（一八四三） 四十歳

日大 081.8.0.99a27。一五・四×一七・三糶。外題「癸卯詠稿 二十七」と左肩に打付書。内題「天保十四年癸卯詠 小津久足」。百二十一丁。奥書「惣計千六百首／桜重日記中貳百六十四首〔上百四十三首／下百廿一首〕／山下水五千七十三首〔冬千二百六十九首／恋千四百七十四首／雜二千五百五十八首／公事百三十四首／補三十八首〕／同鈴歌四百五十八首〔冬百七十三首／恋百五十二首／雜百廿八首／公事五百〕／一二三歌五十首／くさぐさ百首／三種のつと百廿四首〔そなれ松廿七首／きよき泉六首／ゆかりの色九十一首〕／合七千六百六十九首」。

28 甲辰詠稿 弘化元年（一八四四） 四十一歳

日大 081.8.0.99a28。一五・一×一七・三糶。外題「甲辰詠稿 二十八」と左肩に打付書。内題「天保十五年甲辰詠 小津久足」。百十七丁。奥書「惣計千五百三十首／志比日記中三百十七首〔上百十六首／中九十四首／下百七首〕／崎人詠二百十四首〔正百十六首／続九十四首／附四首〕／山下水拾遺春部〔新類九百七十九首／続類四百六首〕／くさぐさ百首／合三千五百四十六首」。

29 〔所在不明〕

30 丙午詠稿 弘化三年（一八四六） 四十三歳

日大 081.8.0.99a30。一五・〇×一七・六糶。外題「丙午詠稿 三

十」と左肩に打付書。内題「弘化三年丙午詠 小津久足」。五十八丁。奥書「惣計七百廿九首／春錦日記九十九首／秋錦日記八十一首／四季題五百首／合千四百九首」。

31 丁未詠稿 弘化四年（一八四七） 四十四歳

三重 1980才10。一五・〇×一七・六糶。外題「丁未詠稿 三十一」と左肩に打付書。内題「弘化四年丁未詠 小津久足」。七十五丁。訂正あり。奥書「惣計九百八十五首／難波日記六十一首／橘日記 三十九首／千首詠／合二千八十五首」。印記「武藤蔵書之印」（朱陽）。

32 戊申詠稿 嘉永元年（一八四八） 四十五歳

日大 081.8.0.99a32。一五・一×一七・六糶。外題「戊申詠稿 三十二」と左肩に打付書。内題「嘉永元年戊申詠 小津久足」。八十一丁。奥書「惣計千七十七首／百重波百廿六首／もろかつら日記四十一首／千首詠／合二千二百四十四首」。

33 己酉詠稿 嘉永二年（一八四九） 四十六歳

日大 081.8.0.99a33。一五・〇×一八・〇糶。外題「己酉詠稿 三十三」と左肩に打付書。内題「嘉永二年己酉詠 小津久足」。四十七丁。奥書「通計六百五十首／遅桜日記廿二首／合六百七十二首」。

34 庚戌詠稿 嘉永三年（一八五〇） 四十七歳

日大 081.8.0.99a34。一五・〇×一七・八糶。外題「庚戌詠稿 三十四」と左肩に打付書。内題「嘉永三年庚戌詠 小津久足」。四十

六丁。奥書「通計五百九十五首／松陰日記廿一首／藤川百首題百首／合七百十六首」。

35 辛亥詠稿 嘉永四年（一八五二） 四十八歳

三重 L980/才12。一五・二×一八・〇糶。外題「辛亥詠稿 三十五」と左肩に打付書。内題「嘉永四年辛亥詠 小津久足」。五十八丁。訂正あり。奥書「通計八百三十七首」。印記「武藤藏書之印」（朱陽）。

36 壬子詠稿 嘉永五年（一八五三） 四十九歳

日大 081.8./0.99a36。一五・二×一八・二糶。外題「壬子詠稿 三十六」と左肩に打付書。内題「嘉永五年壬子詠 小津久足」。五十六丁。奥書「惣計七百九十六首／玉くしけ十四首／合八百十首」。

37 癸丑詠稿 嘉永六年（一八五三） 五十歳

三重 L980/才13。一五・二×一八・二糶。外題「癸丑詠稿 三十七」と左肩に打付書。内題「嘉永七年癸丑詠 小津久足」。八十二丁。訂正あり。奥書「通計千四百四十七首／海山日記（上八十六／下百一／附録三十四）／合式百式拾一首／合千三百六拾八首」。印記「武藤藏書之印」（朱陽）。

38 甲寅詠稿 安政元年（一八五四） 五十一歳

日大 081.8./0.99a38。一四・九×一八・〇糶。外題「甲寅詠稿 三十六」と左肩に打付書。内題「嘉永八年甲寅詠 小津久足」。八十九丁。奥書「通計千二百七十六首」。

39 己卯詠稿 安政二年（一八五五） 五十二歳

日大 081.8./0.99a39。一四・九×一七・九糶。外題「己卯詠稿 三十九」と左肩に打付書。内題「安政二年己卯詠 小津久足」。九十五丁。奥書「通計千三百六十四首／花のぬさ十首／敷島日記八十一首／合千四百五十五首」。

40 丙辰詠稿 安政三年（一八五六） 五十三歳

日大 081.8./0.99a40。一五・一×一八・二糶。外題「丙辰詠稿 四十」と左肩に打付書。内題「安政三年丙辰 小津久足」。七十六丁。奥書「通計千七十首／梅下風廿一首／一日一首三百五十五首／合千四百四十六首」。

41 丁巳詠稿 安政四年（一八五七） 五十四歳

日大 081.8./0.99a41。一五・〇×一八・〇糶。外題「丁巳詠稿 四十一」と左肩に打付書。内題「安政四年丁巳詠 小津久足」。九十丁。奥書「惣計千二百四十六首／一日一首三百八十四首／合千六百三十首」。

〈付記〉

本稿を成すに当たり、日本大学総合学術情報センター・三重県立図書館には貴重な書籍の閲覧・掲載許可を賜った。ここに記して、感謝の意を表します。

（ひしおか けんじ・有明工業高等専門学校）